

グループ全体での取組、イクボスも続々誕生
 同社は、イオングループのスーパーマーケット運営会社で、東北4県で95店を展開しています。2014年の事業エリア拡大に伴い、ワーク・ライフ・バランスの取組を本格化しました。業務効率化のさまざまな取組とともに、社員の年間所定労働時間の削減、長期休日20日などを導入して労働時間を短縮。産・育休のほか、男性の育児休暇取得も推奨。イオングループの「イクボス検定」では200名が初級に認定されるなど、多彩な両立支援策をすすめています。

あきた女性活躍・両立支援センターからコメント!
 ワーク・ライフ・バランスはもちろん、独自のイクボス検定などイオングループ全社での取組は他社の模範となる事例です。これからも業界をリードしてほしいですね。

業種:卸売・小売業 従業員数:6400名
<http://www.mv-tohoku.co.jp/company/>

従業員から 長男が1歳のときに取得した育児休暇で子育てを特訓しました。その後、保育園の送り迎えや予防接種なども妻と分担。父子で過ごす平日休み、長期休暇の家族旅行など、子育てを満喫することが仕事の原動力になっています。



MV事業本部顧客センター 佐々野さん

職場から 労働時間の削減を目指す取組は、仕事の質向上、従業員のモチベーションアップにも効果的。家庭を充実させることで生活者の視点を広めたり、長期休暇で仕事に役立つヒントを得ることで今後に役立ててほしいですね。



MV事業本部部長兼店舗活性化担当 志田さん

経験不問。若手や女性技術者の活躍でリフレッシュ
 創業110年を超える同社は、県内外の公共施設の土木・建築工事、海、川、湖などの水上工事で高い実績を誇っています。しかし年々土木・建築技術者の人材不足が深刻化し、採用枠を未経験者や専門学科以外の新卒にも拡大。福利厚生面では、看護・介護休暇の拡充のほか、産・育休を取りやすい職場づくりで男性の育休取得例もありました。また、若手や女性も働きながら資格を取りキャリアアップできるように、資格取得を支援。仕事もプライベートも充実させられる環境をつくり、職場全体の雰囲気にも良くなりました。

あきた女性活躍・両立支援センターからコメント!
 仕事と家庭が両立できる環境整備と、女性の活躍の場を広げる取組の相乗効果がキャリアアップに繋がっています。地域に愛される企業としてこれからも頑張ってほしいです。

業種:建設業 従業員数:59名
<http://www.oga-shimizu.com.jp/>

従業員から 建築関係の経験を生かして転職。子どもの病気や学校行事などでたびたび仕事を休むこともありましたが、職場の協力を得てがんばっています。子どもの手が離れたら、またキャリアアップを目指したいですね。



総務主任 菊地さん

職場から 職場全体での業務効率・質の向上への取組で、時間外労働削減や有休取得を推奨。働きやすい職場づくりで人材確保に役立っています。それぞれのライフステージに合わせて働き、キャリアアップしながら、どんどん活躍してほしいですね。



清水副社長

- 当日のスケジュール**
- 10:00 開会
 - 10:30 各コーナーの始まり
 - 11:30 新生園のパン販売
 - 13:10 歌謡ショー
 - 14:00 閉会

【参加者/幼児4名、小学生1名、中学生2名】
 毎年10月、同法人が運営する施設で開催される新生園祭は、利用者、その家族、地域住民が一堂に集まるお祭り。親の職場の見学・体験を兼ねた参観日にもなっており、多くの子どもたちが参加しました。小さい子どもは、模擬店、卸売・ゲームコーナーなどをまわってお祭りを満喫。小中学生は、お店から設営撤収などもお手伝い。お祭りの自由な雰囲気の中、親の職場、福祉の仕事、障害者との共生など、多くのことを学ぶ機会として定着しています。



お祭りでお仕事体験! 利用者、住居、従業員の家で大盛況

業種:医療・福祉 従業員数:39名
<http://m-sinseien.com/>

保護者から 生活支援員 伊藤さん/
 息子は中学3年生と小学4年生。何度が訪れているうちに、利用者とおしゃべりを楽しんだり、力仕事も手伝ってくださるようになりました。仕事の話も気軽にできるし、いろいろな意味で子どもたちの視野が広がっているように感じます。



職場から 水林新生園施設長 尾留川さん/
 従業員一人ひとりが、仕事も人生も楽しめる施設づくりをすすめています。こうしたイベントは、子どもたちが施設の様子や親の仕事に触れる絶好の機会。家族ぐるみの交流を通じて、従業員同士の絆も深まっています。

- 当日のスケジュール**
- 14:00 一緒に体操
 - 14:15 ピンコゲーム
 - 14:30 しりとり
 - 15:00 おやつ配り体験

【参加者/幼児4名・小学生3名】
 参観日は、同社が運営する7施設で平成28年から開催。各施設の状況に応じて、利用者や子どもたちが気軽に楽しめるプログラムを実施しています。大崎市のデイサービスホーム仙寿園では、同施設の日常を体験するプログラムにより、利用者と子どもたちが体操やゲームなどで一緒に遊びました。その後はおやつタイムのお手伝い。緊張しながらお菓子や飲み物を配り終え、「ありがとう」と声をかけられると、満面の笑顔になりました。



デイサービスの日常をちょこぶり体験。 [おやつどうぞ] [ありがとう]

業種:医療・福祉 従業員数:82名

保護者から 仙寿園施設管理者 児玉さん/
 小学5年生の二女と5歳の姪も最初は緊張していましたが、一緒にゲームをしたりおやつのお手伝いで少しずつ打ち解けたようです。介護という仕事や私の職場について、理解を深めるきっかけになればうれしいですね。



職場から 高橋社長/
 日程や内容など、各施設の状況に応じて毎年改善しながら取り組んでいます。参加する子どもの数も増え、心待ちにしている利用者も多いですね。あまり気負わず気軽に集まり、楽しみながら継続していこうと思います。

あきた女性活躍・両立支援センターからコメント!
 「子どもお仕事参観日」は、従業員の仕事と家庭との両立支援により、企業経営に好影響を与え、とても良い取組ですね。事例では、「仕事を見たい!」「仕事をしたい!」という親子の想いを融合させ、子どもが興味を示すように「職場体験」を行ったり、管理職自らが参加した子どもに話しかけるなど、企業・団体ごとに工夫を凝らした取組を行っています。従業員の家族に働き、職場内のコミュニケーションが増すことで組織強化につながるほか、従業員の新規採用や職場定着などにも効果が期待できると感じています。

「誰か」ではなく「自分」から みんなで実践! 両立しやすい 職場づくり

仕事 育児 家庭

「働きがい」、「活躍できる仕事」が
 企業の未来をつくる
働き方の見直しを

職場全体で仕事と育児・家庭の両立支援に取り組むことで、従業員の「働きがい」に加え、業務効率や生産性もさらに向上します。安心して長く働き、柔軟に活躍できる人材は業績アップの原動力となり企業の未来をつくります。

お仕事しているパパ・ママを見学! 子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。



秋田県は「男女ともに子育てしやすい職場環境づくり」に取り組む企業を応援します。

秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1555 FAX.018-860-3895

秋田県公式ウェブサイト
 「美の国あきたネット」
 美の国 両立

検索





家庭を尊重、子育てのスキルも仕事に反映

同社は、能代市でショートステイや有料老人ホームなど、高齢者介護の事業所を運営。効率的なチームケアにより細やかな目配りを徹底し、サービスの向上に取り組んでおり、全体の7割を占める女性従業員はその貴重な戦力で、家庭を二の次にして満足なサービスは提供できないとして、従業員の希望を優先した有休取得、短時勤務の利用のほか、子連れでの会議出席を認めるなど、従業員やその家族、利用者それぞれの満足度アップを目指しています。

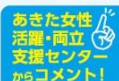


皆さんの気遣いと優しさが利用者へのサービス向上や、仕事と家庭の両立に結び付いています。気兼ねなく保育園への迎えなどができる職場の雰囲気がいっぱいです。



労働時間削減に反比例して業務効率・質は向上

同社は、生活基盤に関わる鉄道・バス、電力・ガス、金融・保険や自治体などの基幹情報システムの開発・構築、サポート事業を展開しています。20年ほど前からワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む、業務・情報の共有・効率化をすすめています。会社創立記念日や土曜日が祝日の前日金曜日を休日とするなど、年間の休業日は124日(平成30年度)。従業員の結婚、出産、子どもの入学祝い金なども制度化し、従業員の“働きがい”創出に大きな効果を上げています。



従業員の要望を前向きに取り入れてくれることは、モチベーションが高まります。職場の皆さんが応援してくれる環境は休暇も取得しやすいですね。

従業員から

子どもの不調にも早めに対処し、休暇申請もなるべく前日までに心がけています。育児しながら仕事での目配りも細かくなったかもしません。無理のない範囲でゆとりとキャリアを積み、ずっと働き続けたい職場です。



訪問介護員 牧野さん

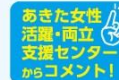
職場から

超前線現場 自分自身の育児経験を生かし、女性も無理なく働ける環境づくりに取り組んでいます。みんなで協力し合って効率化をすすめて、育児・家庭と仕事を両立させることで、満足感や手応えをつかんで欲しいと思っています。それぞれの状況に合わせたキャリアアップにも期待しています。



会社は従業員とその家族も守るべき

同社は、学校、医療福祉機関などの公共施設、宅地造成、道路や橋の整備といった建設土木工事を県内各地で手がけています。40代を中心とする従業員の大半が男性で社生者も多いことから、将来に渡って安心して働ける環境づくりを整備。結婚・出産の祝い金支給、家庭手当の増額、子の看護休暇の拡充、子育て休暇の導入などで仕事と家庭の両立を支援。従業員のモチベーションアップを図り、女性の活躍を応援する職場づくりもすすめています。



女性の現場監督さん誕生も、安心して長く働ける職場づくりに取り組んできた会社だからこそですね。キャリアアップを含め、更なる人材育成を期待します。

従業員から

高校卒業後就職してほぼ20年。業界でも数少ない女性の現場監督としてがんばってきました。仕事はもちろん、出産、子育てとあらゆる場面で支えてくれた職場や仲間は大変な存在。これからは私が若手を支えていこうと思います。



建設部主任 二見さん

職場から

働きがい創出の取組は、従業員とその家族は会社の大切な財産という社長の提唱で、昨年から本格化。さまざまな状況で働く従業員が幸せになくることができることで、さらに仕事の満足度が上がり、活躍につながってほしいですね。



総務部長 大野さん

従業員から

職場は、お互いのプライベートを尊重し合うのがごく自然な雰囲気。私も双子の長女・二女のほか、三女の出産に立ち会い、その後も充実した家族の時間を満喫しています。職場でもがんばって働いて早く家に帰ろうと力があがきます。



システム開発部 神成さん

職場から

長時間労働の解消に取り組む始めてから、労働時間に反比例して業務効率・質は向上しているというのが率直な実感。従業員の要望も取り入れながら、さらに一人ひとりが活躍できる環境を整えていきたいですね。

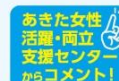


総務部部長 高橋さん



テレワークとface to faceのコミュニケーションを使い分け

同法人は、グリーンツーリズム活動の振興、人材育成、情報発信などの事業を県内全域で運営しています。従業員は全員女性で、遠距離通勤、子育てや介護といった事情も抱えていたことから、平成29年に試験的にテレワークを導入しました。自宅や移動先でも仕事ができる環境を整備し、通勤や出張の移動時間のほか経費やストレスも大幅に削減。月に数回、それぞれの状況に合わせたテレワークの活用で、子育てや家庭と両立できる職場づくりをすすめています。



テレワークへの取組は、これからの両立支援には欠かせないスタイルのひとつです。本県のテレワーク導入企業のさきがけとして、益々の成果を期待します。

従業員から

在宅でも効率の高い働き方を工夫すれば、子どもと過ごす時間も増やすことができます。職場との深い信頼関係で成立している働き方なので、自分のテレワークを見つけ、信頼にこたえていきたいですね。



事務局員南担当 栗田さん

職場から

職場を不在にすることへの不安もありましたが、周囲の理解を得ることで徐々に解消。face to faceのコミュニケーションと情報ネットワークを駆使した在宅業務を使い分け、今後の事業展開に役立てていきたいと思っています。



藤原事務局長

当日のスケジュール

- 10:05 事業紹介
- 10:15 焼却炉・3号伊見見学
- 11:15 執務室・工場事務所見学
- フォークリフト専乗車体験



みんなでイメージ！ 大人になったら運転がきそ？

【参加者/幼児5名・小学生3名】

若手従業員が企画した参観日は、色とりどりの風船やウエルカムボード、キッズスペースなどを用意して大歓迎。「世の中で困っているものを減らす仕事です」と説明を受け、廃棄物の搬入、分別、焼却・処分工程を巡りました。フォークリフトに乗せてもらったり、働く従業員とのモニター通話に夢中になったり、大きな施設をめぐる大冒険を楽しみました。働くパパのカッコいい姿も忘れられない思い出になったようです。

保護者から

総務課 村木さん/娘に働く姿を見せたいと思ってたので、絶好の機会になりました。同じ年代の子も多く、すっかり楽しんだようです。もう少し大きくなったらまた連れてきたい。職場でお互いの子育ての話ももっとしてきたいですね。



職場から

総務課長 橋本さん/職場のリフレッシュを目指して10年ぶりに開催。世の中のために大事な仕事をしているお父さんへの理解を深め、従業員の働きがいにつながることを期待しています。従業員の手作りイベントですが、要望があればまた開催したいですね。

当日のスケジュール

- 10:00 朝礼 “一日ローンセンター長”就任
- 10:15 お金の話
- 10:45 住宅ローンシミュレーション
- 11:00 帰る従業員



一日ローンセンター長に就任！ 100万円借りると毎月3万円？

【参加者/小学生1名】

同社で初のお仕事参観日では、参加した子どもを“一日ローンセンター長”として歓迎。名刺交換で自己紹介した後は、お家を買うためのお金について勉強の時間です。お家の値段を聞いても「100億円とか？」となかなか想像できません。でも一般的なお家の値段や多くの人を利用する住宅ローンの仕組みを学ぶうちに、100万円借りて毎月3万円ずつ返す大変さを実感。初めてパパの仕事に触れ、ますます興味がわいたようです。

保護者から

ローンセンター長久保さん/娘にとって私の仕事は「パソコンを見ている人」という印象。今回初めて「お家を建てる人が無理なくお金を借りるための手伝い」だと一生懸命説明しました。本当の理解はもう少し先ですが、お金の大切さは感じてくれたようです。



職場から

鈴木社長/家庭がうまくいってないからいい仕事はできません。参観日は、仕事を理解してもらい、家族の絆を深めてもらうきっかけになったと感じています。こうした機会を増やして職場と家族、従業員同士の交流を広げていきたいですね。

当日のスケジュール

- 8:45 朝礼参加
- 8:55 職場での名刺交換、開店前作業の見学
- 9:00 お仕事見学 仕事内容・機器の説明
- 貯金(入出金)、記憶体験
- 10:40 勉強会「金融機関の役割」



「けんしん」丸ごと大冒険しよう！ 生まれ初めての名刺交換にドキドキ！

【参加者/幼児11名・小学生1名】

職員と一緒に朝礼に参加し、用意されていた名刺を交換。名刺の受渡方法などを教えてもらいながらやりとりすると、ちょっと大人になった気分。それぞれの部署を見学しながら仕事の細かい仕組みを覚えてもらい、あっという間に数えられるお札の束、たくさんのお金にも目を見張ってました。また、自分たちの通帳を使って、貯金(入出金)の窓口業務も体験。パパが誇りとする金融のさまざまな仕事を間近で見ました。

保護者から

土崎支店長代理 菅原さん/金融というので、5歳の長女や11歳の娘には難しいかもしれません。でもどんな職場でどんな仕事をしているか、少しでも感じてもらえればうれしいです。こうした機会を通じて、さらに家庭や子育てと仕事のバランスアップを図りたいですね。



職場から

土崎支店 安坂支店長/職員それぞれが業務・行動・時間管理をすすめるが仕事の効率化に取り組んでいます。また参観日を通じてお互いの家庭を思いやり、チームワークを高めながら、一人ひとりが活躍できる職場づくりをすすめています。

当日のスケジュール

- 13:30 看護部門 点滴、聴診器体験
- 14:15 放射線部門 X線、CT、MRI実験
- 15:00 (おやつタイム)栄養科 カロリ計算
- 15:45 リハビリ部門 器具、装具の使用



「また来た？」「はい」「全員」 あっ本当にドキドキして...

【参加者/小学生9名・中学生1名】

気軽な体験を通じて医療の仕事に触れてもらうと開かれた参観日。聴診器で自分の脈を測ったり、点滴のスピードを調整。CTやMRIで見える魚や果物の断面図に目を輝かせました。また、300kcalのおやつ選別に苦しんだり、意外に多い清涼飲料水の糖分に母娘で目を見張る姿も！いつものパパ、ママとはまったく別の顔を見てなんだか新鮮です。医療という仕事、そこで働く親の姿にも好奇心一杯の一日になりました。

保護者から

放射線技師 三浦さん/自分の部署で連れてきたことはありましたが全体を見学するのは初めて。医療のいろいろなる仕事を見て、興味も広がったかな。これからも時間をつくって、仕事の話をしたり我が子の将来の夢なども聞いていきたいですね。



職場から

海法院長/子どもにわかりやすく医療の仕事を紹介するために各部署で工夫を凝らしました。子どもたちは医療や親の仕事に興味を持ってほしい。家族の応援や職場の理解を得て、職員にはますます活躍してほしいと思います。